Page 1

**中部の沖釣り情報**

**釣　行　記**

**＜予測＞**

**＜速報＞**

（、

**伊良湖沖の夏アジ最高！**

　　7月6日（土）朝5時前、絶好調の大山沖のイサキに挑戦

　するため「七福丸」の船着き場に夫婦で到着。　昨晩の天気

予報 で“風が強く、波が高い”という予報が出ていたため

出港が危ぶまれたが、「今日はイサキ船2隻で出ます」という

船長の言葉で一安心。

定刻5時30分、2隻の七福丸は大山沖に向かって出港。

湾内は、波も静かで「この調子なら、大山沖でイサキ釣り

トリプル釣りも頻発！

ができる」と思ったのがいけなかったのか、伊良湖沖に近づ

くにつれ、風も強く波も高くなり、船は大揺れに揺れだした。

　すると船長から「大山沖は大荒れで、危険ですので本日は

こちらのアジを狙います」というアナウンスがあった。

　　しばらくして、ポイントに到着。 天秤に船宿提供のスキン

サビキを付け、コマセカゴに7分目程コマセを入れて投入の

合図を待った。

**第1投目から良型アジのアタリ ！**

アジ・鈴なり！

船長の合図と同時に、60号オモリとともに仕掛けを投入。 水深は25ｍ、

コマセを撒き、底から5ｍ程上でアタリを待った。　直ぐに、竿先をたたく

ような小気味よいアタリが出た。 追い食いを待ったがアタリが続かなかった

為、仕掛けを巻き上げた。 すると、29ｃｍの良型のアジが上がってきた。

その後も、投入ごとにアタリがあり、クーラーが二人で釣ったアジで一杯に

なっていった。　アジ以外にも、サバ・チャリコなども釣れ上がり、船上は

四六時中、歓声に包まれていた。

**ダブル・トリプル釣りも ！**

船宿仕掛け

　　途中、ダブル・トリプル釣りも随所に見られ、船宿特製仕掛けの“オーロラ

緑スキン5本バリ・サビキ仕掛け（ハヤブサ社製）”が、本日の濁り潮に絶妙な威力を発揮、クーラーが満タンになり納竿時間前にサオをたたむ釣客が数人見られた。

Page 2／完

　　今日は、強風のためイサキの予定がアジに変わったが、乗船客の人数も適切で、和気藹々の雰囲気の中で、非常に楽しい釣りを夫婦で味わうことができた。 今後とも、アジの好釣さは続き、天候が回復すれば、イサキも活況を取り戻すものと思われます。

　　本日の私の釣果は、27～33ｃｍのアジ51匹であった。 夏が旬のマアジ、6日の夕食では、刺身・フライ・トマト煮などアジづくしを、腹いっぱい堪能した。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜七福丸　℡ 0569－63－0472＞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[ 釣り人：平尾 義弘、監修：松岡隆春7/7 ]

**[7／6　松岡 隆春 ]**

**＜ 浜辺丸 ℡0599‐25‐2259 ＞**

**修二船長のお父さん石原 義平大船長（85才）には“鳥羽方面でのマダイの釣り方の**

**基本を教えていただきました。 両船長のますますのご活躍を祈念いたします。**

**＊私事で恐縮であるが、浜辺丸さんとは30年来の付き合いをさせていただいており、**